



受け継ごう「ハレとケ」の文化

今週末は、いよいよ道泉地区のお祭りが開催されます。

昨年から子どもたちが楽しみにしていたイベントとのことで、教室ではその話題が度々上がっています。

集合時刻と場所、そして解散時刻の目安をお伝えしておきます。

集合場所：ぐるっぺ道泉

集合時刻：12：30

解散時刻目安15：30頃

私もこのお祭りの事情に明るいわけではありませんが、12：30に集合した後には主催者の方よりはっぴ等が配られ、説明がなされる運びだそうです。

さて、昔から、日本人は日常の事を「ケ」と呼び、祭りや行事ごとなどの非日常を「ハレ」と呼んできました。

日常の「ケ」では、贅沢や遊びをつつしんで地道に働きました。

一方で、祭りや正月、節句といったハレの日には、ごちそうを食べたり賑やかに祝いをしたりしました。

晴れ舞台、晴れ着などの「ハレ」という言葉はまさにそれです。

また、祭りのにぎやかさ、荒々しさもハレの日ならではのものです。

普段は秩序を乱さないようにしますが、ハレの日にはそこからはみ出すことが良いとされました。

「ハレ」と「ケ」。

大切に受け継いでいきたい日本の文化です。

現代の日本は、ハレとケの区別が少なくなったと言われています。

以前はハレの日にだけ食べられていたごちそうは、日常生活においても食べられるようになりました。

服装も、晴れ着以上におしゃれな服が普段から着られます。

ゲームやパソコン・タブレットなど、新しく面白いものも次々と出てくる変化の多い時代となりました。

きっと、江戸時代の人々から見れば、現代の人は毎日が「ハレ」に映る事でしょう。

でも、そんな時代だからこそ、あえてハレとケを区別していくことが大切だと思っています。

日常の生活にきちんとメリハリがつくからこそ、何気ない日々の出来事にも感謝できるようになると思うからです。



今週末は、いよいよその「ハレ」の日がやってきます。

この日は、秩序よりも無秩序をあえて創り出す日です。

おとなしさよりも、荒々しさが大切だということです。

威勢よくみこしを担いで、思い切り声を張り上げて、街を元気いっぱい練

り歩きましょう。

この日は、繰り返しますが「ハレ」の日です。

普段、街中で大声を張り上げることはマナー違反ですが、この日だけは違います。

むしろ、大きな声を張り上げれば張り上げるほど、町中の人たちが喜びでしょう。

そうした非日常感を、子どもたちと心から楽しみたいと思っています。

ご参加・お手伝いいただけるお家の方々も、ぜひそうした心持ちでご参加いただけると嬉しいです。

当日、どうぞよろしくお願いします。